

# 小規模農家の生計向上のための野菜生産技術

## Vegetable Production Technology for Livelihood Improvement of Small Scale Farmers

### 案件目標 | Objective

主な野菜生産技術と農業経営の基礎的な知識及び課題解決の方法を習得する。  
Participants acquire knowledge on essential vegetable production technologies, basic farm management, and problem solution skills.

### 研修概要 | Outline

本コースでは、野菜生産による所得向上を目指す農家への栽培・営農指導を行う普及員等を対象に、野菜の生産技術から営農・市場・販売戦略まで総合的な技術の習得を目指します。安価・簡便な従来技術からIT活用の先進技術までを広範に学び、SHEP手法も含め各国の実情に適した産地形成を検討していきます。

This training is designed for agriculture extension officers who provide cultivation and farming guidance to farmers aiming to increase their income from vegetable production. The curriculum consists of comprehensive vegetable production techniques including farm management, market, and sales strategies. We provided the techniques with a wide range from reasonable conventional technologies to advanced IT technologies. Through the training, we discuss the formulation of appropriate vegetable production areas in each country with a market-oriented approach such as SHEP.

### 遠隔① | Online (1)

2026年1月26日～2026年2月13日  
From January 26, 2026 to February 13, 2026

### 来日 | In Japan

2026年2月17日～2026年10月16日  
From February 17, 2026 to October 16, 2026

### 遠隔② | Online (2)

2026年10月19日～2026年11月12日  
From October 19, 2026 to November 12, 2026

### 使用言語 | Language

英語 English



タマネギの収穫調査 | Harvesting research of onion



キャベツの交配実習 | Cabbage crossbreeding practice



野菜の病害虫の観察 | Observation of vegetable pest

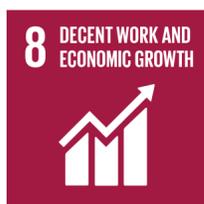


直売所実習 | Direct sales practice

### 参加国 | Countries

ラオス(1) マレーシア(1) モルディブ(1) ネパール(1) パプアニューギニア(1) スリランカ(2) トンガ(1) 計8名

Laos(1) Malaysia(1) Maldives(1) Nepal(1) Papua New Guinea(1) Sri Lanka(2) Tonga(1) Total 8 participants



このコースは、SDGsゴール2の飢餓・食料安全保障・栄養・農業のうち特に「栄養不良を解消」や「小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増する」目標に貢献します。また、ゴール8の働きがいと経済成長のうち「生産性の高い産業育成」や「小規模起業の促進」にも貢献します。  
SDGs Goals 2 “Zero Hunger”& Goals 8 “Decent Work and Economic Growth”

月	講義	実験/実習	見学
1		来日前遠隔指導(インセプションレポート)	
2	現場課題の理解 技術と生産体系の理解 産地・地域視点の理解	インセプションレポート課題分析 来日研修開始・オリエンテーション	
3	個別実験・目的分析実験計画 育苗 土壌養分、施肥 作業記録 市場志向型農業(SHEP)	育苗、栽培管理、圃場準備 栽培実験の計画・立案 接ぎ木、、肥料計算・施肥 作業記録	生産現場の理解 流通・品質管理 農協の概要と営農指導
4	植物生理と野菜栽培 キャベツ、アブラナ科野菜栽培 農作物安全管理 参加型農村開発手法 日本の技術普及システム 農民組織化 生産計画手法	露地野菜の栽培 土壌調査・化学分析 各種野菜の産地形成 ワークショップ 各科栽培実験野菜の定植 野菜栽培と簡易灌漑 病虫害発生予察	スイカ産地 国立機関の農業研究 研究所の施設栽培研究 県の特産野菜栽培技術研究 春キャベツ産地 農協の土壌診断
5	野菜育種概論 施設園芸の特徴 栄養生理と栄養診断 日本のフードバリューチェーン トマト栽培の作型	各科実験野菜の栽培管理・調査 養分欠乏・過剰の観察 トマト・キャベツの交配実習	養液栽培と経営 トマト栽培農家 タマネギ産地 公設卸売市場 種苗会社
6	野菜栽培と灌漑技術 実験データの分析とまとめ方 栽培技術の普及手法 鮮度保持技術	農業普及関連 鮮度保持実験	有機野菜生産 県農業技術センター
7	種子の生理と貯蔵 野菜病害と防除 農薬の適正使用 野菜害虫の総合的管理 マーケティング手法 海外フードバリューチェーン事例 野菜の加工と付加価値化	実験データの収集・分析 害虫の同定と防除 病害診断 土壌伝染病害実験 栽培野菜の収穫 野菜直売実習(収穫調整・梱包・陳列)	農業高校のカリキュラムと教育 バレイショ研究 高冷地キャベツ生産 キュウリの育種技術 農協直売所
8	報告書作成法 野菜生産における営農概論 農業マーケティング概論 天敵を利用したIPM 女性が働きやすい農業生産環境	トマトの交配・採種 実験結果の分析とまとめ 実習技術のポスター作製・発表	有機野菜生産 ピーマン産地 県の園芸振興政策 農産加工と地域振興 新規野菜の特産化 農村活性化
9	普及技術としてのICT事例 日本の新規就農と経営	ICT 活用実習 個別実験結果発表・討議	日本の品種登録システム つくば市の野菜生産と振興行政
10	アクションプランの作成 プレゼンテーション法	アクションプラン作成・発表・討議 アクションプラン現地具体化	
11		帰国後遠隔指導(アクションプラン・研修報告)	
通年		各科野菜の栽培実験 環境制御型温室での栽培 パプリカ・レタスの栽培	各産地の生産技術 農協の役割 生産部会活動 農家と農協・普及所 施設栽培 ブランド化戦略

\*研修受け入れ不可の期間(研修旅行等)

4/22(火)～4/23(水)

5/11(月)～5/15(金)

6/30(火)～7/2(木)

8/24(月)～8/28(金)